

# 特別支援学級 生活単元学習 学習指導案

日 時 令和3年11月2日(木)  
学 級 北上市立飯豊中学校  
F組 2名(男子2名)  
授業者 教諭

## 1 単元名 校外学習にでかけよう ―芸術にふれる旅に行こう―

### 2 単元について

#### (1) 単元の位置づけと扱う教材について

本単元は進学後や社会に出てから、公共交通機関を利用して移動する機会が増えることを踏まえ、自分の力で、公共交通機関を利用して目的地まで移動できるようになることをねらいとして設定した。

この学習の中には、「目的地について調べる」という社会科的要素や、「お金」や「時刻」を扱う数学的要素を入れながら、調べる過程での情報収集・活用能力やコミュニケーション能力など、今後生活していくときに必要な「生きるための力」の育成を大きな目的としている。

校外学習の目的地に、日帰りできる範囲の中から、盛岡市内の工芸体験教室と県立図書館を選んだ。北上市外を自分たちだけで行動する機会は少なく、関心意欲も高いと予想される。盛岡市は2学年の職業研修で10月に訪れる地でもあるが、借り上げバスでの移動のため、自分の力で行ったという実感はないはずである。また、進学希望先の学校が盛岡にあるため、通学になった場合も想定し、自分の力で行くか不安も感じているようである。加えて、来年度、再来年度は修学旅行で班別自主研修も行う予定である。公共交通機関を使う機会が少ない生徒たちにとって、経験を積む良い機会となる。

#### (2) 単元と生徒との関わり

F組は、2学年男子1名、1学年男子1名、計男子2名からなる知的障がい学級である。5教科について特別支援学級で授業を行い、生徒の実態に合わせた学習を行っている。実技教科は交流学級で行い、集団行動や級友とコミュニケーションをとりながら授業に参加している。授業では落ち着きがあり、授業の説明もしっかりと聞くことができるが、理解に時間を要する。また、一度できたことも、時間がたてばまた忘れることも多く、くり返し学習をすることで内容の定着をはかっている。

本単元に関わる生徒の実態は下記の通りである。

生徒	本単元に関わる生徒の実態
A(2年)	<ul style="list-style-type: none"><li>・地理的な学習には興味を持っているが、生活圏ではない場所に関しては興味が薄い。</li><li>・お金や時刻の学習ではできることも多いが、実生活に生かすことのできる学習の経験は少ない。</li><li>・PC活用は学校でも家庭でも使い慣れているため、PCを使つての情報収集はできるが、活用能力やコミュニケーション能力はまだ困難なところが多い。</li></ul>
B(1年)	<ul style="list-style-type: none"><li>・身近な生活圏以外の地理感覚に乏しい。</li><li>・お金や時刻の学習ではできることも多いが、実生活に生かすことのできる学習の経験は少ない。</li><li>・PCを使う機会が限られているため、PCを使つての情報収集、活用能力では支援を要する。コミュニケーション能力は普段の生活場面では特に支援を必要としない。</li></ul>

### (3) 単元と本校研究主題とのかかわり

本校の研究主題である「主体的に学びに向かう生徒」を、特別支援教育としては、「自ら学びを振り返って、次への学びに向かうことができる生徒」と捉える。社会を生き抜くための力を身につけることで、楽しさや有能感の高まりが見られ、次への学習意欲を引き出し、それが主体的に学ぶ姿へつながると考える。生徒が主体的に学ぶための授業づくりとして下記の内容を単元の中に取り入れたい。

- ① 身近で切実な教材を設定すること
- ② 学習課題を明確にすること
- ③ 見通しをもって活動できるようにすること
- ④ 自己選択、自己決定できる場を設定すること
- ⑤ 授業のねらいに沿った物理的環境を整えること
- ⑥ 振り返りの場を設定すること

関心の高い「校外学習」を扱うことで、この学習に意欲を持たせ、主体的に学びに向かえるよう支援を工夫しながら調査学習や体験学習をさせていきたい。また、将来、社会生活を送る上で必要となる、人とのコミュニケーションの仕方、地図の見方、時間の使い方、お金の使い方などを教科と連携して取り組み、本人が主体的に体験しながら学んでいけるよう工夫したい。

## 3 単元の目標と評価規準

### (1) 単元の目標

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「盛岡市」について知識を得ることができる。</li> <li>・立てた計画を実行できるように、「情報」「時間」「お金」「コミュニケーション」に関わる技能を身につけることができる。</li> <li>・目的地まで自分の力で行くことができる。</li> </ul>
思考力・判断力・表現力等	・調べ方を学び、調べたことを生かして、計画を立て、まとめ、発表できる。
学びに向かう力、人間性等	・校外学習に関心を持ち、調査学習・実践などに意欲的に取り組むことができる。

### (2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 「盛岡市」について知識を得ている。 技 立てた計画を実行できるように、「情報」「時間」「お金」「コミュニケーション」に関わる技能を身につけている。 技 目的地まで自分の力で行くことができる。	調べ方を学び、調べたことを生かして、計画を立てるとともに、学習した成果をまとめ、発表している。	校外学習に関心を持ち、意欲的に活動している。

## 4 単元全体を通した指導と評価の計画【単元構想】（14時間）

時	学習課題とねらい	評価規準			【評価方法】評価
		知	思	態	
1	学習課題：校外学習についての流れを確認しよう ・盛岡市の陶芸教室と図書館を目的地として校外学習を行うことを確認し、意欲をもつとともに、行くまでに調べることや、必要な学習があることを認識する。 ・校外学習についての説明を聞きながら、質問したり、プリントに書き込んだりする。			○	<b>【観察】</b> 話をしっかりと聞こうとしている。 <b>【プリント記入】</b> 説明を聞いたことをプリントに記入することができる。

2	<b>学習課題：目的地について調べよう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べ方の技能を身につけるとともに、盛岡市の位置や交通手段、駅周辺などの知識を学ぶ。</li> <li>インターネットを使って調べ学習する。</li> </ul>	知 ○			<b>【プリント記入】</b> 調べたこと、学んだことをプリントに記入することができる。
3 本 時	<b>学習課題：目的地まで、どの交通機関を使って行ったらよいだろうか。①</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>北上から陶芸教室まで移動する手段をインターネットで検索する方法を身につける。時刻表の見方も習得する。</li> </ul>	技 ○	○		<b>【観察】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを使って知りたい情報を見つけることができる。</li> <li>検索した中から、条件に合った適切な交通手段を見つけ出すことができる。</li> </ul>
4	<b>学習課題：目的地的まで、どの交通機関を使って行ったらよいだろうか。②</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>陶芸教室から県立図書館、昼食場所、北上までの移動する手段をインターネットで検索し、調べる。</li> </ul>	技 ○	○		<b>【観察】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを使って知りたい情報を見つけることができる。</li> <li>検索した中から、条件に合った適切な交通手段を見つけ出すことができる。</li> </ul>
5	<b>学習課題：当日の計画を立てよう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しを持ち、計画を立てる。</li> </ul>		○		<b>【プリント記入】</b> 当日の動きを確認しながら、計画をプリントにまとめることができる。
6	<b>学習課題：乗車券の買い方や公共の場でのマナーを身につけよう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗車券購入やスムーズな買い物の仕方を練習する。</li> <li>公共の場でのマナーについて、自分の行動を振り返り、練習する。</li> </ul>	技 ○	○		<b>【観察】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>買い方、マナーなどを身につけることができる。</li> <li>当日の動きを意識して、練習に真剣に取り組もうとしている。</li> </ul>
7	<b>学習課題：出発直前の確認をしよう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>当日の日程を再確認して、行動に見通しを持つ。</li> </ul>		○		<b>【確認】</b> 当日の動きを意識して、確認しようとしている。
8 5 13	<b>学習課題：校外学習に行こう（当日6時間扱い）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関を使って、目的地まで移動する校外学習を行う。</li> </ul>	技 ○	○		<b>【観察】</b> 計画したことを協力して実践しようとしている。
14	<b>学習課題：校外学習の反省・まとめをしよう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>校外学習の成果や課題などを写真や作文でまとめ、発表する。</li> </ul>		○		<b>【プリント記入】</b> 伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。

## 5 本時の指導

### (1) ねらい

北上から陶芸教室まで移動する手段をインターネットで検索する方法を身につける。時刻表の見方も習得する。



<個人の目標>

生徒	目標
A (2年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でインターネット検索をし、知りたい情報を見つけることができる。</li> <li>・検索した中から、条件に合った適切な交通手段を選ぶことができる。</li> </ul>
B (1年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を受けながら、インターネット検索をし、知りたい情報を見つけることができる。</li> <li>・検索した中から、条件に合った交通手段を教師と一緒に選ぶことができる。</li> </ul>

(2) 評価規準

おおむね達成	未達成の生徒への支援・手立て
<p><b>【知識・技能】</b> インターネットを使って知りたい情報を見つけることができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 検索した中から、条件に合った適切な交通手段を選ぶことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCの使い方を補助する。</li> <li>・調べるためのキーワードやヒントを提示する。</li> <li>・条件を明確にし、検索した交通手段と条件が合うか教師と一緒に見つけ出す。</li> </ul>

(3) 指導構想

本単元では、「校外学習にでかけよう -芸術に触れる旅に行こう-」をテーマに設定し、それまでの計画や準備を自分の力で行うことをねらいとしている。本時は細かい計画を立てる1時間あたり、計画の立て方をしっかり身につける時間にもなる。


本研究の視点である「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業実践」という視点で以下のことを重点として実践したい。

焦点化については「主体的に取り組むため」の題材を設定した。修学旅行、進学、就職などで、将来、公共交通機関を使って生活していくであろう生徒の実態を踏まえ、関心・意欲と必要性を合わせた学習に向かうことで、自立に向けて生活力を高めていきたい。そのために、課題をより具体化・明確化し、見通しをもって活動することができること、自己選択、自己決定ができる場を設定することにより、学びの楽しさ、有能感、達成感を味わい、次の学習意欲へ繋げていきたい。

視覚化については、授業の中でキーワードとなる言葉をあらかじめ準備し、黒板などに提示またPCを活用して操作の仕方や情報をTVモニターに映し出すなど、生徒の取り組みやすさを補助していきたい。

共有化については、それぞれの調べた情報をTVモニターに映し出したり、黒板に提示したりするなど、学習内容を共有することで違いや新たな発見に気づかせより最適な課題解決に向かわせていきたい。

(4) 黒板使用計画

<b>学習課題</b>	目的地まで、どの交通機関を使って行ったらよいだろうか。	<b>まとめ</b>
<b>出発地</b>	北上市村崎野駅 8時台出発	<b>村崎野駅</b> JR 東北本線 〇時〇分出発
		<b>盛岡駅</b> JR 東北本線 〇時〇分到着 徒歩でバス停に移動 県交通 〇〇線 <b>ホームック盛南店</b> バス停 〇〇で下車
<b>目的地</b>	盛岡市 陶芸教室「クレイスペース盛南陶房」 ホームック盛南店内	
<b>やってみよう</b>	インターネットを使って行き方を調べてみよう。	
<b>キーワード</b>	<b>村崎野駅</b> <b>盛岡駅</b> <b>ホームック盛南店</b>	

(5) 展開 本時：3/14時間

段階	学習内容	・支援、指導上の留意点 評価		提示資料
		A (2年)	B (1年)	UDの視点
導入 15分	1 前時の復習を行う。	・訪問先の資料（PC：グーグルマップ）を画面に写し、目的地のイメージをしっかりと持たせる。		資料 盛岡市の地図（PC活用）
	2 目的地の位置の確認	・盛岡市の地図（PC：グーグルマップ）を活用し、視覚的に理解しやすい工夫をする。		
	3 学習課題の設定	<b>目的地まで、どの交通機関を使って行ったらよいだろうか。</b>		
展開 25分	4 学習課題に対する予想を立てる。	・家族で出かける場合と授業で行く場合の交通手段の違いに気付かせる。	・家族で出かける場合と授業で行く場合の交通手段の違いを提示し、気付かせる。	PCで検索機能を活用  <b>視覚化</b>  学習プリント
	5 学習課題を解決するためにインターネットを使って調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの検索機能を使って調べることを確認する。</li> <li>・キーワードを提示し、交通手段を確認する。</li> <li>・電車とバスを乗り継いで、目的地まで行けることを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">[技] 自分でインターネット検索をし、知りたい情報を見つけることができる。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの検索機能を使って調べることを確認する。</li> <li>・キーワードを提示し、交通手段を確認する。</li> <li>・「村崎野駅」→「盛岡駅」までは電車、「盛岡駅」→「DCMホームック盛南店」まではバスで行けることを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">[技] 支援を受けながら、インターネット検索をして、知りたい情報を見つけることができる。</div>	
	6 いくつかの交通手段の中から一番良い方法を見つけ出す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の出発時間を確認し、目的地までの所要時間、電車時刻、乗り継ぎ場所、料金なども検索し、学習プリントに記入する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">[思・判・表] 検索した中から、条件に合った適切な交通手段を選ぶことができる。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の出発時間を確認し、目的地までの所要時間、電車時刻、乗り継ぎ場所、料金なども検索し、学習プリントに記入する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">[思・判・表] 検索した中から、条件に合った交通手段を教師と一緒に選ぶことができる。</div>	
終末 10分	7 まとめ	<b>決定した交通手段、時間、料金など学習プリントにまとめる。</b>		
	8 振り返り	・学習した項目ごとに◎・○・△で自己評価をする。		
	9 次の確認	・帰りの交通手段を今回と同様の方法で調べることを確認する。		